

令和 8 年 8 月 25 日

国土交通省関東地方整備局

港湾空港部

## CNP 認証（コンテナターミナル）交付式を開催！

### ～千葉港コンテナターミナルを新たに認証します～

国土交通省では、令和 7 年 3 月に、コンテナターミナルにおける脱炭素化の取組の透明化を図り、客観的に評価する「CNP 認証（コンテナターミナル）」を創設しています。

今般、「千葉港コンテナターミナル」が認証を受けましたので、9 月 1 日に認証書の交付式を開催します。

※CNP 認証（コンテナターミナル）の詳細については、国土交通省港湾局記者発表のホームページを参照ください。

#### 1. 概要

日時：令和 8 年 9 月 1 日（火）11 時 30 分～（30 分程度）

会場：横浜第 2 合同庁舎内（横浜市中区北仲通 5 丁目 57 番地）

主催：国土交通省 関東地方整備局 港湾空港部

#### 2. 取材

- ・取材を希望される報道機関の方は、8 月 31 日（月）12 時までに電子メールにてお申し込みください。
- ・当日は、11 時 15 分までに会場受付にお越しください。
- ・カメラ等による撮影は可能です。なお、取材の際は、報道機関名が確認できる取材者証（腕章）等の着用をお願いいたします。

<発表記者クラブ> 竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 横浜海事記者クラブ

<問い合わせ先>

関東地方整備局 港湾空港部

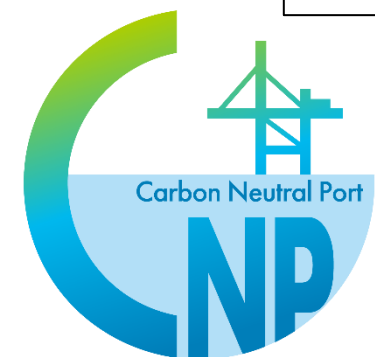
電話：045-211-7415（代表）

メールアドレス：pa.ktr-kouwankeikaku-chousa@nyb.mlit.go.jp

港湾計画課長 公平（こうへい）（内線：5796）

課長補佐 笠井（かさい）（内線：5751）

# 千葉港 千葉港コンテナターミナル



CNP Certification

認証レベル  
Level 1

(認証日 令和8年8月25日)

CO<sub>2</sub>排出量原単位  
8.57kgs CO<sub>2</sub> / TEU

## 脱炭素化の取組主体

## 主な取組内容

千葉県

港湾脱炭素化推進計画の策定

インバータ制御方式のガントリークレーンの導入

ヤード内照明のLED化

LNG燃料船・LNG燃料供給船への  
入港料減免制度の導入

### [ターミナル概要]

千葉港コンテナターミナルは、水深-12m、延長240mの岸壁と、面積約73,000㎡のヤードを有し、京葉臨海工業地帯など首都圏の物流需要や充実した交通網等を背景に、東京湾の国際物流拠点として運営されており、複数の定期コンテナ航路が就航しています。

外貿コンテナ航路は、韓国、台湾、東南アジア方面などに就航しています。また、横浜港との間の国際フィーダー航路等も就航しており、トランシップにより、世界各地への輸送も可能です。

また、ターミナル内の環境負荷低減に向けた取組としては、インバータ制御方式のガントリークレーン（全2基）を導入するとともに、ヤード照明のLED化を推進しています。



インバータ制御方式のガントリークレーンの導入  
(全2基)



脱炭素化推進協議会



ヤード内照明のLED化

| 港・ターミナル名                | 認証レベル       | 各レベル取得要件                                        | ターミナルの<br>取組状況 | 推奨項目(+)の詳細                                            |
|-------------------------|-------------|-------------------------------------------------|----------------|-------------------------------------------------------|
| 名古屋港飛島ふ頭南側<br>コンテナターミナル | レベル 4 + + + | ・港湾脱炭素化推進計画の作成                                  | ○              | ・構内 A G V の脱炭素化(※)<br>・管理棟の省エネ及び緑化<br>・LNG バンカリングへの対応 |
|                         |             | ・インバータ制御方式のガントリークレーンの導入 (導入率 80%以上)             | 導入率 100%       |                                                       |
|                         |             | ・低・脱炭素型トランスファークレーン・ストラドルキャリア<br>の導入 (導入率 80%以上) | 導入率 96%(※)     |                                                       |
|                         |             | ・L E D 照明の導入 (導入率 80%以上)                        | 導入率 100%       |                                                       |
|                         |             | ・環境に配慮した船舶への入港インセンティブの導入                        | ○              |                                                       |
|                         |             | ・ゲート前の渋滞、ヤード内の滞留対策の実施                           | ○              |                                                       |
| 大分港大在コンテナターミナル          | レベル 1 +     | ・港湾脱炭素化推進計画の作成                                  | ○              | ・管理棟の省エネ                                              |
| 境港国際コンテナターミナル           | レベル 1       | ・港湾脱炭素化推進計画の作成                                  | ○              | -                                                     |
| 千葉港コンテナターミナル            | レベル 1       | ・港湾脱炭素化推進計画の作成                                  | ○              | -                                                     |

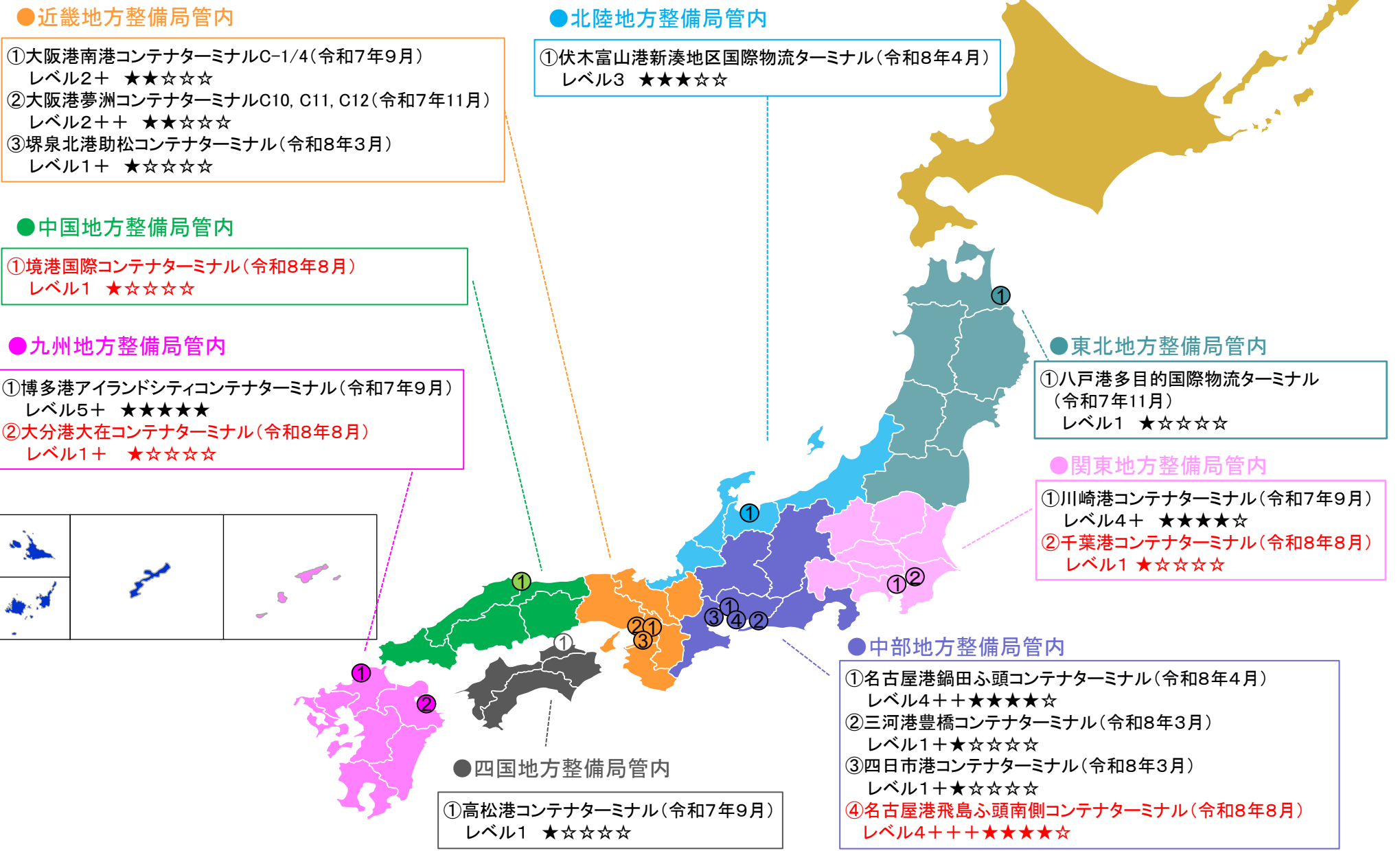
※ トランスファークレーン及び構内 A G V が自動化されているため、取得要件を満たすものとして評価。

※制度概要や認証ターミナルの情報については、C N P 認証ポータルサイト(下記二次元バーコード)に掲載しています。

[https://www.mlit.go.jp/kowan/kowan\\_fr4\\_000088.html](https://www.mlit.go.jp/kowan/kowan_fr4_000088.html)



CNP 認証ポータルサイト



- 評価の対象は、①貨物取扱に関する取組、②船舶・車両の脱炭素化、③その他の取組
- レベル1～5の5段階で認証、各レベルで設定している「要求事項」を全てを満たすことが必要
- 「推奨事項」を満たしている場合、その項目数に応じて「+」を付加

CNP認証(コンテナターミナル)評価基準

| 大分類        | 主な取組                   | 要求事項(レベル1～5) |     |     |     |      | 推奨事項(+)                                                |
|------------|------------------------|--------------|-----|-----|-----|------|--------------------------------------------------------|
|            |                        | 1            | 2   | 3   | 4   | 5    |                                                        |
| 貨物取扱に関する取組 | 脱炭素化に向けた計画を作成          | ○            | ○   | ○   | ○   | ○    | ・構内トラクター電動化など<br>・リーファー施設、管理棟の省電力化など                   |
|            | 低・脱炭素型荷役機械の導入          | -            | 10% | 50% | 80% | 100% |                                                        |
|            | LED照明などの導入             | -            | 10% | 50% | 80% | 100% |                                                        |
| 船舶・車両の脱炭素化 | 環境に配慮した船舶への入港インセンティブ付与 | -            | -   | -   | ○   | ○    | ・船舶への陸上電力の供給<br>・次世代船舶燃料の供給<br>・大型商用EV・FCV等に対するインセンティブ |
|            | ゲート予約システムの導入           | -            | -   | -   | ○   | ○    |                                                        |
| その他        | 上記以外の低・脱炭素化の取組         | -            | -   | -   | -   | -    | ・低・脱炭素化された電力・燃料の利用<br>・環境配慮タグボートの導入                    |